# 家族経営協定で、より充実した農業経営を

7月30日、家族経営協定調印式が農業委員会長立会のもと行われ、谷川健司さん・真子さん（大野町藤北）、加木勝さん・康久影さん（大野町田中）、後藤徳行さん・麗さん（大野町田中）の3組のご夫妻が家族経営協定を締結されました。今後のご活躍をお祈りします！

### 「家族経営協定」とは

家族で取り組む農業経営について、家族全員が意欲とやりがいを持って経営に参画できる魅力的な経営を目指すために、経営や生活・将来の目標（経営の目標・役割分担・収益の配分・生活上の諸事項など）について、家族みんなで話し合い、確認したことを「ルール化」として文書化することです。また、農業者年金の保険料助成や各種支援制度が受けられるなどメリットがあります。

## 農業者年金は積立年金

## 安心で豊かな老後のため、農業者年金に加入しましょう！

**農業者年金加入条件**　次の要件を満たす方はどなたでも加入できます。

①60歳未満の方

②年間60日以上農業に従事（配偶者・後継者も可）

③国民年金第1号被保険者

## 全国農業新聞を購読しませんか？

### 金曜日発行／月700円、年8,400円（消費税込）

全国農業新聞は、「暮らしと経営」に役立つ情報をお届けします。農業に関する最新技術・新製品や新品種、全国各地で活躍する農業者の工夫やアイデア等、農業に役立つ情報を紹介しています。

**1週間に1度、農業・農政情報をお届けします。**

購読の申し込みは豊後大野市農業委員会事務局へ

**☎0974-22-1001**

お気軽にご連絡ください。

## 農政コラム
### ～農業委員の活動から～

少子高齢化の中、農業後継者不足が深刻になってきている。豊後大野市内で34の地区で集落営農法人が設立され、それぞれの地域での実情に合った特色のある経営活動を行っている。地域の農地を荒らさずに皆で守って行こうという機運の高まりだと思う。我々が生きていくために必要な食糧、その食糧を生産する農業が衰退しては大変である。

北海道では、後継者不足に悩む小規模酪農家が、地域酪農を衰退させないために協業化して、今では道南最大の法人として地域の酪農を担っている。

これからは、個人で耕作できなくなる農地が増してくるのではないだろうか、集落で話し合い、農地中間管理事業等を活用し、皆で守って行くのはどうだろうか、集落の維持は、専業農家があり、それを取り巻く兼業農家があって成し得るのではないかと思う。「リーダーが燃えれば人が動く、人が動けば村が動く」と言います。今後、10年、20年先、地域の農業をどのように展開していくのか課題も多い、遊休農地が発生しないよう、集落のみんなで話し合い、知恵を出し合い、地区の未来が明るく発展することを期待する。

みんなで守ろう『**豊葦原の瑞穂国**』

（N・S）